

平成28年度(2016年度)

管理事業名	市営葬儀事業			総合計画の体系	第5章 第1節	環境を守り育てるまちづくり 環境負荷の少ない住みよいまちづくり	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 8	市営葬儀費
部局名	環境部	予算執行所属	地域環境課				
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
市営葬儀に関する事業							
事業の目的と概要	<p>目的:本市において葬儀を行う者(故人又は申請者が市民である場合に限る。)に対し、葬儀の規格及び料金を設定し、市の指定葬儀業者に祭壇等の飾付け及び式事の執行等を委託することにより、市民に対して簡素にして低廉・厳粛な葬儀の実施を図っています。</p> <p>概要:葬儀のうち、納棺等御遺体の取扱い、葬儀用品等の供給、祭壇等の飾付け及び式事の執行を、市指定の葬儀業者に委託しています。</p>						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
市営葬儀利用件数	件	151	185	190	市営葬儀を利用された件数
成果の説明	市営葬儀を利用された件数は平成26年度以前は150件前後で推移していましたが、近年は増加傾向にあります。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	21,223	25,919	25,943	24
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	21,223	25,919	25,943	24
給与関係費	6,868	3,626	3,378	△248
物件費	21,308	25,875	26,149	273
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	34	-	-	-
賞与引当金繰入額	562	304	309	5
退職手当引当金繰入額	4,672	△3,135	58	3,193
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	33,445	26,671	29,894	3,224
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△12,222	△752	△3,951	△3,200
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△12,222	△752	△3,951	△3,200
一般財源充当額	7,791	4,549	4,200	△349
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△4,431	3,797	248	△3,549

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	市営葬儀使用料(飾付け使用料及び霊きゅう自動車使用料) 25,943千円(+24千円)
給与関係費	職員人件費
物件費	市営葬儀委託料 24,992千円(+300千円) 【増加理由】市営葬儀実施件数が前年度に比べ増加したことによる

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	21,275	25,919	25,943	24
行政サービス活動支出	29,067	30,468	30,143	△326
行政サービス活動収支差額	△7,791	△4,549	△4,200	349
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△7,791	△4,549	△4,200	349
一般財源充当額	7,791	4,549	4,200	△349
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	行政サービス活動収入:飾付け使用料及び霊きゅう自動車使用料 行政サービス活動支出:市営葬儀委託料
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市営葬儀1件あたりのコスト	平成26年度	151件	221,490円	市営葬儀1件あたり157,337円のコストがかかっています。
	平成27年度	185件	144,168円	
	平成28年度	190件	157,337円	
	平成26年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	304	309	5
未収金	34	34	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	304	309	5
徴収不能引当金	△34	△34	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	3,573	3,320	△254
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	3,573	3,320	△254
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	3,877	3,629	△248
建物・工作物	-	-	-	純資産	△3,877	△3,629	248
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-	純資産の部合計	△3,877	△3,629	248
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

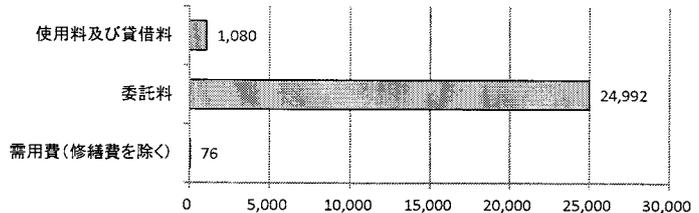
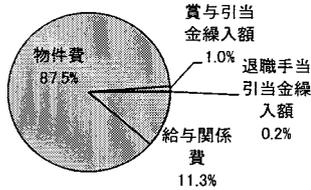
事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	月平均	人				
事業従事人数	0.48	人		日	人	3,746
給与関係費等	3,746	千円				3,746
内、時間外勤務手当	0	千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
受益者負担比率		63.5	97.2	86.8	△10.4
徴収不能引当率		100.0	100.0	100.0	0.0
一般財源充当比率		26.8	14.9	13.9	△1.0

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費26,149千円(87.5%)、給与関係費3,378千円(11.3%)となっています。物件費の主な内容は、市営葬儀委託料24,992千円、霊きゅう自動車借上料1,080千円です。
上記経費から導かれる市営葬儀のコストは1件あたり157,337円ですが、その大半は市営葬儀使用料でまかなわれています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

葬儀について、手続きの簡略化を図るため、平成29年7月より、直営で行う市営葬儀を廃止し、直接使用者と葬儀業者との契約により実施する規格葬儀制度へ移行します。また、祭壇や式事を省いた葬儀を要望する市民の声が増えていることから最低限必要な葬祭用品等の提供を行う略式型を増設します。今後は、制度の周知をはかると共に、窓口・電話での葬儀に関する相談業務を通して市民ニーズを把握することで、より時代に即した葬儀制度のあり方について検討していく必要があります。